

高校2年生・現代社会（担当 大和田）

みなさん、こんにちは。

今回の課題も前回に引き続き、休校明けの授業の予習となります。

教科書p.14～p.19を参考にしてプリントの穴埋めを完成させ（プリントアウトができない場合は、他の紙に答えを記入して）次の登校日に提出してください。

元気に再会できるのを楽しみにしています！

高校2年生 現代社会 課題

テーマ2●資源・エネルギー問題

教科書p.14～19

資源・エネルギー問題

- ①熱源や動力になる石炭や石油といった¹ _____ を、² _____ 資源という。
- ②¹ _____ や鉱物資源は、埋蔵量に限りのある³ _____ 性資源であり、産出地域にかたよりがあある（資源の⁴ _____ 性）。半導体の材料となるレアメタルや⁵ _____ などの稀少金属も偏在している。
→ 価格や⁶ _____ が不安定になることがある。
- ③日本は、資源・エネルギーへの⁷ _____ 依存度が高く安定的な供給体制が必要。

エネルギー利用とその変化

- ①産業革命にともなう生産力の拡大は⁸ _____ がになったが、1960年代には⁹ _____ が² _____ 資源の中心となった（¹⁰ _____ ）。
- ②1970年代に起こった¹¹ _____ 後、¹² _____ や原子力など石油代替エネルギーの導入、¹³ _____ 対策の推進、¹⁴ _____ エネルギーの技術開発などが進んだ。
- ③¹ _____ の使用は地球温暖化の原因の一つとされ、持続可能な経済発展のため、¹⁵ _____ 社会の実現が課題となっている。

原子力発電の動向と課題

- ①原子力発電は、エネルギーを安定的に供給でき、¹⁶ _____ を排出しない反面、有害な¹⁷ _____ を発生させ、安全性が問題になる。
¹⁸ _____ の管理・処分も課題となる。
- ②日本は、プルトニウムを燃料とする¹⁹ _____ を基本政策とし、高速増殖炉や²⁰ _____ の導入を推進したが事故も発生してきた。
- ③2011年の²¹ _____ にともない、²² _____ 原子力発電所で「深刻な事故」が発生した。→いったんはすべての原子力発電所が発電を停止したが、安全性の基準を満たしたものを再稼働する動きもある。

再生可能エネルギーの普及に向けて

- ①²³ _____ ，太陽熱，²⁴ _____ ，波力，地熱，潮力，²⁵ _____ など，資源確保の問題がなく，発電時に二酸化炭素を排出しない¹⁴ _____ エネルギーの開発と導入が進んでいる。
- ②日本での普及には，経済性や供給の安定性に課題がある。¹⁴ _____ エネルギーの²⁶ _____ 制度が導入されているが，検討すべきことが多い。

脱炭素社会の実現のために

- ①ヨーロッパ諸国の一部や日本では²⁷ _____ の導入などの措置をとっている。
- ②発電とともに蒸気や熱などを同時利用する²⁸ _____ (熱電併給) が注目され，電気自動車や低公害車，²⁹ _____ ，蓄電池などの開発が行われている。
- ③さまざまな技術と¹⁴ _____ エネルギーを組み合わせ，情報通信技術で効率的に運用する省エネ型の都市 (³⁰ _____) の開発が進んでいる。

高校2年生の皆さん、こんにちは。

自宅待機の間プリントの方はとうとう、戦後最後の単元までたどり着いてしまいました。今回のテーマは、『高度経済成長と55年体制の終焉～現在の安倍晋三内閣の登場』までになります。今単元後半は歴史というより政経のような感じですが、穴埋めしてみてください。

ここまでのプリントでやってきた内容は、予習の意味でやってもらったもので、全員が揃って登校できるようになった時には、解説を加えながらもう1度授業でやりますので安心してください。

第13章 激動する世界と日本

1. 経済大国への途

〔ドル危機と石油危機〕

A. ドル危機

ア. アメリカの国際収支悪化が背景

① () 戦争による軍事支出の増大

② 西側諸国への多額の経済援助

③ 日本・西ドイツなどの対米輸出の急増

悪化の原因

イ. ニクソン＝ショック (1971) = () ショックともいう

① 金・ドルの交換停止、輸入品への課徴金など

② 日本・西ドイツなどへは為替切り上げを要求

() 大統領によるドル防衛の新経済政策

ウ. 1ドル＝360円の固定相場制から変動相場制へ移行 → ブレトンウッズ (IMF) 体制崩壊
1971年末、一時1ドル＝308円の固定相場制の復活・・・スミソニアン体制

1973年、ドル不安が再燃 → 日本や西欧諸国、変動相場制に移行

B. 米中 (中華人民共和国) 接近とベトナム戦争の終結

ア. 中華人民共和国が国連加盟 (1971) → ニクソン電撃訪中 (1972) → 米中の国交正常化 (1979)

イ. () 協定締結 (1973) 米軍撤退 (南ベトナム崩壊) → ベトナム社会主義共和国成立 (1976)

ウ. カンボジア内戦、中越 (中国とベトナム) 戦争など → インドシナ難民が急増

C. 中東紛争と石油危機

ア. 背景：パレスチナ問題 → ユダヤ人がイスラエルを建国 → アラブ諸国は反発

イ. () 戦争 → アラブ石油輸出国機構 (OAPEC) が親イスラエル諸国 (日米) などに石油輸出を制限 → 石油価格4倍に引上げ → () 次 ()

ウ. () (1975)：石油危機を機に先進6カ国による首脳会議を開催

〔高度経済成長の終焉〕

A. () 内閣 (1972.7～1974.12)

ア. ()：周恩来との間で締結 → 日中国交正常化、中華人民共和国を唯一の合法政府と認め、台湾と国交断絶 (=民間レベルは密接な関係)

イ. () 論：工場の地方分散、新幹線・高速道路など公共投資を拡大する方針 → 株式・土地投機、地価暴騰 → 第1次石油危機と重なり () 物価に → 買い占め騒動などがおこる → 戦後初のマイナス成長 (1974) → 高度経済成長の終焉

ウ. 政治資金調達をめぐる金脈問題で総辞職

B. 三木武夫内閣 (1974.12～1976.12) — スローガン：クリーン政治

() 事件による収賄容疑で田中前首相が逮捕される → 総選挙で敗北 (退陣)

C. 福田赳夫内閣 (1976.12～1978.12)

ア. () 条約締結 (1978)：日中共同声明から6年後に正式調印

イ. 安定成長時代・・・1976年の経済成長率は5.1%、貿易収支が5年ぶりに黒字化

D. 大平正芳内閣 (1978.12～1980.6)

ア. 東京で先進国首脳会議 (東京サミット) を主催 (1979)

イ. 「保革伯仲」 → 第2次石油危機 (1978) への対応 → 衆参同日選挙中に急死

E. 鈴木善幸内閣 (1980.6～1982.11)

自民党安定多数を回復、支出抑制、公共投資の縮小 → 増税なき財政再建案をめざす

F. 革新自治体の瓦解 → 京都・東京・大阪で革新知事があいつぎ落選（1978～1979）

〔経済大国の実現〕

- A. 第1次石油危機以後 → （世界経済停滞） → 日本は5%前後の経済成長率を維持
- B. イラン革命を機に原油価格高騰 → （ ）次石油危機（1978～1979） → 日本克服
- ア. 減量形成：省エネへの転換、人員削減、工場・オフィスの自動化など
- イ. 産業構造の高度化
鉄鋼・造船・石油化学などの停滞 → 自動車・半導体・IC・コンピュータなどハイテク産業の生産・輸出拡大 → 欧米諸国との間で（ ）が勃発
- ウ. 為替相場の円高傾向が定着 → 海外への資本輸出が増加
- エ. 経済大国：（1980年代）1人当たりの国民所得は世界1位（円高の影響）となる
- ①世界のGNP全体に占める日本の割合 — 約10%（1988）・・・最大の債権国となる
- ②1980年代、開発途上国への（ ）=ODAが世界最大規模に
- C. 交通網の整備 — 中国・東北・関越道などの高速道路網
山陽（1975）、東北・上越（1982）新幹線の開通、新東京（成田）国際空港の開港（1978）
青函トンネル・瀬戸大橋の開通（1988）、関西国際空港の開通（1994）

〔バブル経済と国民生活〕

- A. 1980年代：日本の対米貿易黒字の急増 → アメリカの自動車産業などが打撃を受ける → ジャパン=バッシング
- ア. 日本に自動車などの輸出自主規制、農産物の輸入自由化を要求
- イ. 1988年：（ ）の輸入自由化を決定 → 1991年から実施
- B. アジア NIES（新興工業地域経済群） → 急激な経済成長を達成
- C. （ ）合意（1985） — 5カ国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）でドル高是正
- ア. 円高加速 → 輸出産業中心に円高不況 → 1993年には1ドル=100円台に突入
- イ. 内需主導に転換（1987～） → 景気回復
- ①コンピュータ・通信機器を利用した生産・流通・販売のネットワーク化
- ②重化学工業におけるマイクロ・エレクトロニクス（ME）技術の導入
- ③コンビニ・外食・レジャー産業が急成長 → 第3次産業の比重拡大
- ④家庭にインターネット・携帯電話が普及・拡大
- ⑤長時間労働の慢性化
- ⑥円高進行 → 生産拠点を海外に移転 → 生産の空洞化
- ウ. 内需景気 → 超低金利政策による地価・株価の高騰 → （ ）景気（1986～1990）
- D. （ ）内閣（1982.11～1987.11） — スローガン：戦後政治の総決算
イギリスのサッチャー首相、アメリカのレーガン大統領などの新保守主義の日本版 — 公共事業の抑制
「小さな政府」、国有企業の民営化などを推進
- ア. （ ）改革：国鉄・電電公社・専売公社の3公社を民営化 → JR・NTT・JTが誕生
- イ. 日・米・韓の緊密化 → 防衛費の増額
- ウ. 労働組合の再編：総評の解散（1979） → 日本労働組合総連合会＝（ ）結成
- E. 竹下登内閣（1987.11～1989.6）
1989年財政再建のために大型間接税である（ ）3%を導入

2. 冷戦の終結と日本社会の動揺

〔冷戦から内戦へ〕

A. 新冷戦時代（1980年代）

ア. 緊張緩和（デタント）→ ソ連のアフガニスタン侵攻（1979）→ 新冷戦時代へ

イ. アメリカの（ ）大統領 → 対ソ強硬路線 → 軍備拡張と大幅増税・規制緩和

ウ. 新自由（新保守）主義政策：古典的な自由放任経済と「小さな政府」を目指す

B. 米ソ経済力の低下

ア. アメリカ：国家財政・国際収支の悪化 → 「（ ）の赤字」

イ. ソ連：深刻な経済危機 → ゴルバチョフ書記長の改革＝（ ）、情報公開（グラスノスチ）

C. 冷戦の終結

レーガン・ゴルバチョフの米ソ首脳会談

ア. 中距離核戦略（INF）全廃条約に調印（1987）

イ. ソ連のアフガニスタンからの撤退（1988）

ウ. （ ）島会談 — 米ソ共同による冷戦の終結宣言・・・「ヤルタからマルタへ」

D. 東欧諸国の民主化運動：社会主義体制から離脱 → （ ）革命

ア. （ ）の壁崩壊（1989） → 東西ドイツの統一（1990）

イ. （ ）の解体 → ロシア・ウクライナなどに分立

E. 新たな紛争

ア. イラクのクウェート侵攻 → アメリカ主力の多国籍軍が介入＝（ ）（1991）

イ. 旧ユーゴスラビア分裂 → ボスニア＝ヘルツェゴビナ紛争（1992～）

ウ. カンボジア内戦

宮沢喜一内閣で（ ）法が成立（1992）→カンボジアに戦後初めて自衛隊派遣（1992～1993）、以後、各国に派遣

[55年体制の崩壊]

A. 自由民主党（自民党政権）の転換

ア. 昭和天皇の死去（1989.1）→ 昭和から平成へ

イ. 自由民主党単独政権の弊害 — 金権政治が明るみに

①竹下昇内閣（1987.11～1989.6）：（ ）事件で退陣

②宇野宗佑内閣（1989.6～1989.8）：参議院議員選挙で大敗、短命内閣

③海部俊樹内閣（1989.8～1991.10）：湾岸戦争への対応、党内対立で退陣

④宮沢喜一内閣（1991.10～1993.8）：PKO協力法成立 → 自衛隊、カンボジア派遣
佐川急便事件、大手ゼネコン汚職 → 国民の政治不信
自民党分裂 → 衆議院議員選挙で自民党過半数割れ、社会党敗北 → （ ）の崩壊（1993）

B. 不安定な連立政権

ア. 細川護熙内閣（1993.8～1994.4）：共産党を除く非自民8会派による連立政権

①選挙制度改革 — 衆議院に（ ）並立制を導入

②佐川急便問題などで退陣 → 羽田孜内閣（1994.4～6）は約2ヶ月で退陣

イ. 村山富市内閣（1994.6～1996.1）

①社会党党首の村山富市を首班とする自民党・社会党・新党さきがけの連立政権

②社会党の政策転換（消費税・日米安保・自衛隊容認）

ウ. 野党（新生党・公明党・民社党・日本新党など）が合同し、新進党を結成

[平成不況下の日本経済]

A. 1980年代のバブル経済 → 1990年代に（ ）が崩壊、一転して平成不況に突入

ア. 平成不況から複合不況へ

①実質経済成長率が1%台(1992～)に落ち込む

②株価・地価の暴落 → 値上がり期待で購入した土地・株式が不良資産化

不良債権を抱えた金融機関の経営が悪化 → 金融不安が経済全体に悪影響を与える
→ 複合不況

③企業の経営合理化(リストラ) → 大量の失業者、消費低迷 → 不況の長期化

イ. 住宅金融専門会社(住専)の経営破綻、北海道拓殖銀行、山一証券、日本債権銀行、日本長期信用銀行などが破綻

B. 円高の加速

自動車・電子・家電などの輸出関連企業の国際競争力が低下、内需不振

〔日本社会の混迷と諸課題〕

A. 1990年代の社会不安

ア. 1995年、()大震災、オウム真理教による地下鉄サリン事件など

イ. アメリカ軍兵士による暴行事件 → 沖縄県民の米軍基地縮小運動など

ウ. 金融機関の経営破綻など → 国民の経済や社会に対する不安が増大

B. 混迷する政治状況：村山富市内閣退陣 → 自民党の橋本龍太郎連立内閣成立

ア. 橋本龍太郎内閣(1996.1～1998.7)

①新選挙制度による選挙で自民党躍進(社民党・新党さきがけは閣外協力)

②財政構造改革法制定 → 財政健全化を目指し、歳出削減で行財政改革を推進

③消費税を()%に引き上げ → アジア通貨危機、金融機関に公的資金投入

④企業倒産・リストラで大量の失業者 → 参議院議員選挙の敗北で退陣

イ. 小渕恵三内閣(1998.7～2000.4)

自由党・公明党の政権参加で安定多数 → 日本周辺有事のための新ガイドライン関連法(周辺事態安全確保法など)、国歌・国旗法成立(1999)

ウ. 小渕恵三首相急死 → 森善朗内閣(2000.4～2001.4)：1府12省庁がスタート

エ. ()内閣(2001.4～2006.9) — 「聖域なき構造改革」

①構造改革 — 郵政民営化、道路公団の分割民営化など → 衆議院議員選挙で圧勝

②自衛隊のイラク派遣、アメリカの同時多発テロを受けてテロ対策特別措置法を制定

③北朝鮮訪問、国交正常化交渉と拉致問題、靖国参拝 → 中・韓と関係悪化

オ. 安倍晋三内閣 → 福田康夫内閣 → 麻生太郎内閣 → 衆議院選挙で民主党が圧勝

カ. 民主党政権の誕生

鳩山由紀夫内閣(2009.9～2010.6) → 菅直人内閣(2010.6～2011.9)の時、東日本大震災(2011.3)が発生 → 野田佳彦内閣(2011.9～2012.11)

C. 山積する諸課題

ア. 少子・高齢社会の急速な進行と税収・保険料減少 → 社会保障制度への懸念

イ. 環境問題 — 1997年に地球温暖化防止京都会議で()採択 → 循環型社会形成推進基本法施行(2000)で家電・容器包装などのリサイクル法制化が進む

「もんじゅ」事故、福島第一原発事故 → 原子力の安全性に対する信頼が揺らぐ

ウ. 情報化 — 携帯電話・インターネットの急速な普及 → 情報漏洩、企業活動のボーダレス化

エ. 中国・インドや新興国の経済発展 — 国際競争の激化

高2 世界史B 休校中の課題⑤

先週の問題は解けましたか？ぜひ全問解答&正解をめざしてくださいね。

※休校明けのテストのお知らせ（ちょっと変更）

休校期間中に学習する内容のうち、今回と次回の範囲について、休校明けに試験をします。3回目までの範囲については前回練習問題を解きましたので、試験範囲には含めません。

試験といっても、テキストやノートを見ながらするテストです。ですから、細かな言葉のひとつひとつを暗記する必要はありません。私にとっては、みなさんが学習内容をどのくらい理解しているか知るための試験、みなさんにとっては、学習内容をもう一度整理するための試験にしたいと思っています。

さて、今週の宿題ですよ～。今回と次回で古代ローマを扱います！

- ① 教科書p.40～p.44を読んで、「各国別世界史ノート」のp.15～p.17の内容を学習してください。答えを見て空欄を埋めてから教科書を読むというやり方でも、教科書を読んで自力で空欄を埋めてから答え合わせをするというやり方でも構いません。自分の集中力や理解度が高まる方法を選ぼう。その際には、このあとに続く「世界史Bお助けプリント」も参考にしてください。また、一般公開されている講義動画も活用してください。

【講義動画の紹介】

・「Historia Mundi」という先生のYoutube。（「youtube ムンディー」で検索すると出てきます）再生リスト「【大学入試完全網羅】高校世界史世界史20話プロジェクト」の、014～016が今週の内容です。

・栄光ゼミナールの講義動画（「栄光ゼミナール 講義動画」で検索）
高校生用ページの一番下に世界史があります。

第3講 1共和政ローマの発展(1)～(2)後半) が今週の内容です。

- ②次の問題の答えを、ルーズリーフ等（レポート用紙、コピー用紙なども可。ノートなど冊子状のものは不可）に記入して、休校明け最初の授業で提出してください。毎週一問ずつ、文章で答える問題を出します

問題「ローマがイタリア半島諸都市に対して行った分割統治について、その内容や目的を説明してから、この政策に対するあなたの意見を述べてください。自分の意見を述べるときは、現代におきかえて考えても構いません。」（字数の指定・制限は特にありません）

質問は、杉田まで！電話でお問い合わせください。

世界史B お助けカード④

checkの答え

- ① プレブス ② コンスル ③ 護民官 ④ ホルテンシウス法

⑤ 分割統治

4 古代ローマ史

1 ローマ共和政の成立 教科p.40-41

① ローマの建設

- ①前8世紀, 古代イタリア人の一派(ラテン)人がティベリ河畔に都市国家ローマを建設
※ロムルス・レムス兄弟の建国伝説…(ウェルギリウス)作の『アエネイス』の記述
- ②当初, ローマはイタリア半島の先住民(エトルリア)人の王が支配
→ラテン人は前6世紀末に(3)人の王を追放し, 共和政を樹立

② 平民と貴族の抗争, ローマ共和政の進展

- ③ローマでは, (パトリキ)と呼ばれる貴族と, 中小農民を中心とする(プレブス)と呼ばれる平民の身分差があり, 政治や重要な役職を貴族が独占
終身=死ぬまでずっと
- i) (元老院)…任期終身の貴族の議員からなる立法機関
- ii) (コンスル)(執政官, 統領)…任期1年で2名からなる最高官職
- iii) (独裁官)…非常時に任期半年で(7)から任命される臨時職

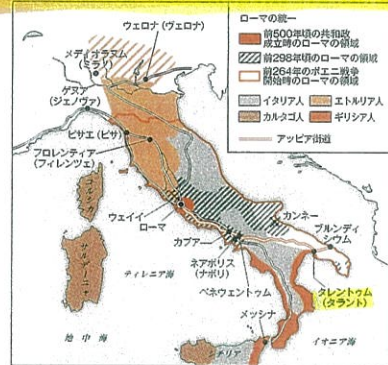
貴族が独占

④ 貴族と平民の身分闘争の激化…背景に, 重装歩兵として国防を担った平民の発言力の増大

- i) 前5世紀初め, 平民が政治参加を訴えて, 元老院やコンスルの決定に拒否権を行使できる平民出身の(護民官)と, 平民のみによる(平民会)が設置される
平民を護るものが護民官です!!
- ii) 前5世紀半ば, ローマ最初の成文法である(十二表)法が成立し, それまでの慣習法がはじめて成文化され, 貴族の法的知識の独占が打破される←アテネはドラコンがやりました!
- iii) 前367年, (Licinius-Sextius)法が成立し, 2名の執政官のうち1名は平民から選出することや, 一人あたりが占有可能な公有地面積の制限, 負債利息の支払い規定などが取り決められる
- iv) 前287年, (ホルテンシウス)法が成立し, (10)の決議は元老院の認可なしに全ローマ人の国法となることが取り決められる
前は平民会で決めても元老院にダメに
→平民と貴族の政治的な権利が同等となり, 両者間の身分闘争は終結

③ ローマによるイタリア半島の統一

- ①身分闘争と同時期, ローマは北部のエトルリア人の都市や, 南部のギリシア人の都市など, イタリア半島各地を制圧
→前272年, スパルタの植民市であった半島南端の(タレントゥム)を征服し, イタリア半島の統一を完成
- ②ローマは, 征服した都市を(植民市), (同盟市・自治市)にかけて支配する(分割統治)を採用
- ③統一の過程で, (ローマ)街道に代表される軍道が整備される



今回と次回で古代ローマについて学びます!
今回は「ローマ」が都市国家から、地中海を支配するほどの大国に成長するところまで、みていきます。
前6世紀, ローマをつくったラテン人が, 先住のエトルリア人の王を追い出して, 共和政をいじめます。

ただし, 政治に参加できたのは貴族(パトリキ)だけでした。(アテネの貴族と同じですね!!) 政治で一番力をもちていたのが, コンスルです。2人います。総理大臣が2人いる感じですね。法律をつくるのが元老院です。XavierはコンスルのOBばかり!! すげえ牛逼ですね。iii)の独裁官は, 戦争など非常事態のときのみつられる全権です。ひとりで全部決められます。各前の通りですね。

さて, アテネと同じように, ローマでも, 平民(プレブス)が「政治に平民も参加させよう!!」と語りよりになります。重装歩兵(おぼえてるかな??)として, ローマを守ったり, 領土を広げる働きをしているからですよ。ということ。i)~iv)の頃には, 平民の政治参加が認められなかった。案外i)の前には, なかなか要求も認められなかった。貴族にいろいろおぼろげに平民(兵士)が, 山にたかよるという事件がおきています。「俺は平等じゃないぞ!!」ってか!!。今みたいに, ストライキですね…。言えぬらねてよかた!!!

↑この, i)~iv)のラミキと同じ時期に, ローマはイタリア半島各地を征服。前300前半に, イタリア半島をまるごと手に入れおわりです。ただし, 手に入れたとは言っても, その中には別の民族がたかよる(植民)している王様です。さう, 反乱がおきてしまってもいいかな。

そこで, ローマが考えたのが, ⑤「分割統治」という方法。征服した都市を「植民市」に分けて, 待遇は差をつけたのびる, (植) (自) (同) びる。植民市が好待遇なのか不思議に思えるかもしれませんが, 「植民」ってことは, ローマ人がたかよる住んでいるってことなんです。だから, 良い住いにしてあげた。案外, 植民市同士, 自治市同士, 同盟市同士でも, びびるに反しては差をつけたらしいです。どこの町がローマへの不満をもちても, 「お前はいいじゃないか! 俺はたかよる」と他の町がきて, 国を結してたことか, せめても「おまこよりマシ」と思って不満がやめられた。そんな効果を狙ったらしいです。

良い ← 待遇 → 悪い
 (植) (自) (同) びる

check

- ① 古代ローマでは貴族とパトリキと平民と。では, 平民は何と呼びましたか。
- ② 古代共和政ローマにおける, 任期1年で2名からなる最高官職を何というか。
- ③ 平民から選出される, 元老院やコンスルの決定に「NO!!!」と言える官職を何というか。
- ④ ある法が制定されたことで, 古代ローマでは貴族と平民の法的平等が達成された。この法を何というか。
- ⑤ ローマがイタリア半島諸都市に対して用いた統治政策を何というか。

答えはページ右側!!

イタリア半島統一をたじびげたローマは、「地中海東岸の3民族」で出てきてるよ!!!

その先の地中海で、カルタゴというフェニキア人の町とぶつかりました。ど、3回も戦争になりました。

checkの答え

- ①カルタゴ ②シチリア(島) ③カンネーの戦い ④ラティアンティア ⑤パンと見せ物

ポエニ戦争といひます。ポエニとは、フェニキア、という意味です。まず、第1回。長いですがね〜

20年かかっている。たまたま月替りかつかたて、どちらも寝てきてけど、負けを認めざるわけにはいかず、スズル長引いていました。最後、月替りか決ましたのは、

海上戦争でした。カルタゴの荷物は、荷物をたたくん

木敷んでいて、重きかかるとなると。それに反し、ローマの荷物は、最小限の荷物しかのせておらず、ちよこま

重かけたので、カルタゴに月替りかたててきました。

カルタゴも荷物がいくつと良かうためにね〜

でも、これには理由があるんです。ローマ側の兵士は

(兵士ローマの人で、自分たちのために戦っている。でもカルタゴの兵士は雇われた兵士の貴民族が

多くて、お金のために戦っている。だから、ローマ人は

荷物があつたら盗まるとか思ってたからってけど、

カルタゴの兵士はそれかこぼしたとて、私にたす

家と学校では荷物あつたら盗まるとか思ってたからってけど、

たじびのたじび島でたじびと気をつけるもんね。

次、②第2回。力を回復したカルタゴの反撃です。

カルタゴの武将ハンニバルが、アルプスを超えて、ローマを

背後から攻撃しました。アルプス... 3000m級の山々。

こえていくって、正気がいい!? 冗談だろ?? と思

たりですか、やっつてました。37頭の象もいってました。

(か、ローマでの戦いのうらでローマ軍がカルタゴを攻めることに成功し、結局、負け... 第3回でカルタゴが完敗し、ポエニ戦争は終了。

16 古代ローマ史 教p.41の22行目〜p42

2 ローマによる地中海征服とその影響

①ポエニ戦争(前264〜前146)…イタリア半島統一後、ローマは地中海西方を支配するフェニキア人の植民市(「カルタゴ」と衝突し、3回にわたる戦争に突入

②第1回(前264〜前241)…(シチリア)島のシラクサでの反乱をきっかけに勃発 →ローマが勝利し、(2)島は初の属州(中央派遣の総督が統治する直轄地)となる

③第2回(前218〜前201) i)前半はカルタゴが優勢。カルタゴの将軍 ポエニ戦争 (ハンニバル)がヒスパニアからアルプス山脈をこえてイタリアに侵攻し、前216年の (カンネー)の戦いでローマ軍を破る 地中海を渡り、河川に囲まれてしまつて。 ii)後半には、ローマの将軍 (スキピオ)がアフリカのカルタゴ本国を攻撃し、前202年の (ザマ)の戦いで(3)を破って、ローマが勝利

iii)結果…カルタゴは海外領土をすべて失ひ、ローマがヒスパニアや多額の賠償金を獲得

④第3回(前149〜前146)…勢力を回復したカルタゴを、ローマの大カトーらが警戒して開戦 →ローマは将軍小スキピオらを派遣し、カルタゴを攻撃して徹底的に破壊

⑤3回にわたるポエニ戦争はローマの勝利に終わり、ローマは西地中海の制海権を獲得

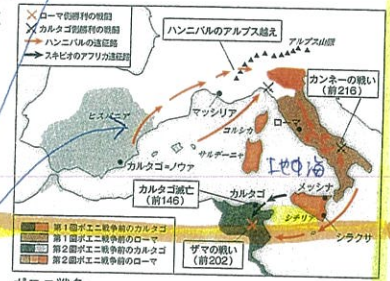
⑥ポエニ戦争と並行してローマは東地中海へ進出し、(ギリシア)・マケドニアを属州とする

⑦ポエニ戦争の影響——ローマ社会の変容

⑧長年の征服戦争への従軍によって農地が荒廃して中小農民が没落し、こうした農民の多くはローマに流入して(無産市民)となる →(8)は、属州から輸入される安価な穀物で生活し、また市民権を保持していたので、大土地所有者や政治家からの恩恵を享受(これを「パンとサーカス」と呼ぶ) =選挙権をもちいる!!

⑨農民が手放した土地や征服戦争で得た土地を集め、戦争捕虜の奴隷を多数投入しておこなう(ラティアンティア)(大土地所有制)による農業経営が広がる →おもに属州の総督となった元老院議員や、属州で徴税請負人となった(エウイテス)(騎士)階級がこうした農業経営をおこない、莫大な富を得る →富を得た人々は(パトリス)(新貴族)と呼ばれる新支配階層を形成し、政権をにぎる

⑩市民間の貧富差の拡大や従来市民による軍隊の解体がすすみ、前2世紀後半以降、市民の平等を原則とするローマ共和政の土台が動揺 →元老院を基盤とする(パトリス)派と、ノビレスを中心とする(プラベリ)派の対立が激化



イタリア半島以外の、ローマの領土のこと。

check

答えは右へ!

- ①ポエニ戦争で、ローマが単独の相手は、何という者か。
- ②第1回ポエニ戦争でローマが手に入れた初めの属州はどこか。
- ③第2回ポエニ戦争で、ハンニバルが前216年、ローマに勝利した戦いの何というか。
- ④ポエニ戦争の影響で成せした、奴隷使用にとづく大土地所有を何というか。
- ⑤ " の影響で 都市に流れた無産市民は政治家や有力者から 食べ物や娯楽を 与えられた。これを何というか。

「農民=兵士」を復活させるため、農民に土地を返すことになり、グラックス兄弟が、でもこの改革は、多くの有力者が反発をうけた。彼らの土地を没収するってことだからね。

とくにあげて、「農民=兵士」はもうムリなので、兵士に金手付か自衛隊みたいな感じにしたい。そして、いまひとつおちつかたは、「内乱の1世紀」に突入。⑥同盟市が立ちあがり、同盟市は戦争に備えさせられるのに、こぼれははいらない!! 選挙権も手付くというつらい立場だったのよ。よって「今まではマシな状態だったよ...」

選挙権を強くいられたが選挙。スタジウム(コッソセオ)という、剣闘士(剣奴)の闘いを、剣闘士(剣奴)の闘いを見ることが、この時代のエンターテインメント。政治家・軍人のクラススや、スラの後継者のポンペイウスによって鎮圧される

②おちつかたの中で、カエサル、ポンペイウス、クラッススの3人。この3人を中心に展開された政治を、第1回三頭政治といいますが、3人それぞれはいいも、仲が悪いのはよく、利害が一貫していない。クラッススが対ポリティア軍とセクステス・バルブスと戦った。ガリア遠征で成功して、いい感じのカエサルを警戒してポンペイウスが、元老院とくっついてカエサルを倒そうとします。カエサルもそれに警戒!! 負けたら、ポンペイウスがエジプトに逃がすと、カエサルも逃してエジプトへ。しかし、カエサルがエジプトに着いた時、ポンペイウスは別件の争いの中で殺されてしまった。というわけで、カエサルの勝利!!

③第2回三頭政治のメンバーも、仲良くないよ。養子オクタヴィアヌスと部下アトニウスが、バチバチです。レビドゥス失脚後は、さらに対立がはげしくなります。アトニウスはオクタヴィアヌスの妻と結婚していたのですが、エジプト王クレオパトラにほれ込み、彼女と結婚してしまいます。これに怒ったオクタヴィアヌスは、「セキエムというものがあつたら、ヒドイ!!!」と、アトニウスに手紙を書いたとさ。いい弟があな。でも、実はオクタヴィアヌスも彼女がたまたまいるプレイボーイだったのよ。アトニウスからは「お前に言われたくない!!」と返事かきたさうぞ。どっちもどっちであら。さて、最終的に片勝負かきまるとさ、④アクティウムの海戦であら。オクタヴィアヌスがアトニウスとクレオパトラに勝利するよ。クレオパトラはエジプト(クレオパトラ朝)の女王だったのよ。このとき、エジプトも滅び、ローマは地中海の覇権をにぎることになりました。

- ① グラックス兄弟 ② スピルタクス ③ カエサル
④ オクタヴィアヌス ⑤ クレオパトラ
- 「元」
「元」
「元」

3 ローマ共和政の崩壊——内乱の1世紀

紀元前42の204年頃～前44

- ① グラックス兄弟の改革
 - ② 前2世紀後半、兄弟でありついで護民官に就任した(1) グラックス兄弟が、ローマ軍の再建を目的に、大土地所有者の土地を没収して無産市民に分配する改革をこころみる
 - ③ 兄は反対派に暗殺され、改革を引き継いだ弟も自殺に追い込まれて、改革は失敗に終わる
- ② 「内乱の1世紀」(前1世紀)の開始
 - ④ 改革の挫折後、ローマの軍隊は有力政治家が無産市民を集めてつくる私兵が担うようになる

前世紀の出来事だよ! 経路が変化した

古代ローマ史 17

- 平民派の(2) リキウスと閥族派の(3) スラが抗争をくりひろげる
- ⑤ 混乱を背景にイタリア半島の(4) 同盟市がローマ市民権を求め反乱(前91～前88)をおこす → スラが反乱を鎮圧。反乱の結果、半島内の全自由民にローマ市民権が拡大される
- ⑥ 剣闘士(剣奴)の(5) スピルタクスに率いられた大反乱(前73～前71)が発生するが、富豪で政治家・軍人のクラススや、スラの後継者のポンペイウスによって鎮圧される
- ③ 三頭政治と共和政・「内乱の1世紀」の終焉
 - ⑦ 第1回(6) 三頭政治(前60～前53) → 東方を平定して勢力をのびした(7) ポンペイウスが、元老院に対抗するために、クラススや平民派の将軍(8) カエサルと協力して政権を獲得 → (8) は(9) ガリア(現在のフランス)への遠征に成功して勢力をのびし(その記録が「(10) ガリア戦記」)、一方でクラススは(11) スピルタクスへの遠征で死去、(12) サッマの戦いで(8) と、元老院と結んだ(7) とが対立・激突し、前46年に(8) が勝利
 - ⑧ カエサルは独裁政権を確立して社会の安定につとめ、(13) ユリウス暦の導入なども実施 → 前44年に彼は終身の独裁官に就任するが、元老院を無視して王位につこうとしているとみなされて、共和派の(14) ブリュタスやカッシウスらに暗殺される ← この時のカエサルのセリフが
 - ⑨ 第2回三頭政治(前43) → 再開された元老院中心の政治に対抗して、カエサルの部下の(15) オクタヴィアヌスと(16) レビドゥス、カエサルの養子の(17) オクタヴィアヌスらが結成 → 政権獲得後、(15) と(16) ・レビドゥスとのあいだで対立がおこり、レビドゥスは失脚し、(14) はブトレマイオス朝エジプトの(18) クレオパトラと結ぶ
 - ⑩ 前31年、オクタヴィアヌスとアントニウス・クレオパトラ連合軍が(19) アクティウムの海戦で激突し、オクタヴィアヌスが勝利(「内乱の1世紀」の終了)
 - ⑪ 前30年、ローマがブトレマイオス朝を滅ぼし、約300年の(18) ヘルメニス時代が終了

お互いに「カエサルの後をどうか自分」で思ってる。

check

- ① 前2世紀後半、ローマが自作農再建のために改革をすすめた兄弟をたぬというか
- ② 前1世紀前半におきた、剣闘士の反乱を率いた人物は誰か
- ③ 第1回三頭政治のメンバーで、最後まで残って権力を行使したのは誰か
- ④ 第2回三頭政治のメンバーで、カエサルの養子だったのは誰か
- ⑤ 第2回三頭政治のメンバーであるアトニウスと結ぶ人、エジプト女王は誰か

今回はこまごま!!
次回は、オクタヴィアヌスが元老院のおいさまを威嚇させます!
たぬかた? おちつかたに...!!
暑い日が増えてきましたね。
アイスがおいしいぞ。
いや、アイスは年中おいしいぞ...。
必須感が増えています。
食べ過ぎに気を付けて!!

